

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1039.2	文化財保存経費	01	一般会計		
		10	教育費		
36	歴史や文化を守り未来へ引き継ぐ	05	社会教育費		
		02	文化財保護費		
		101	文化財保存経費		
		01	文化財保存経費		
担当部課名	教育委員会島ヶ原分室		細目	101	文化財保存経費
作成者氏名	川口正仁	連絡先	(59)2058	細々目	01

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市指定無形民俗文化財「獅子神楽」の保存と伝承している保存会	貴重な文化財を適切に保存・伝承することにより、守る人観る人が地域の歴史や文化を学び市民一人ひとりが、次世代に誇りをもって引き継ぐ自覚が生まれる。
本年度事業内容	○島ヶ原獅子神楽保存会: 定例の練習の他、他府県の神社の秋祭り奉納や学園祭へ舞の披露、地区内の神楽奉仕等 会員数21名	
	平成 年度 終了年度 平成 年度	根拠法令・要綱等 伊賀市文化財保護条例

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.01	0.01	0.01
	人件費合計(A)	72	72	72
	事業費(B)	100	90	90
②支出内訳(千円)	委託料			
	補助金	100	90	90
	その他			
	合計(A+B)	172	162	90
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	172	162	90	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
獅子神楽活動回数	回	28	20	20			
獅子神楽活動参加延べ人数	人	280	252	273			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
会員参加率 (参加延べ人数/該当者総数)	該当者総数を分母とし、参加延べ人数を分子とした。	%	47 目標 (100)	60	65
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

旧村で指定を受けた当該無形文化財はそのまま新市に引き継がれたが、伊賀市が行っている現在の民族芸能伝承のための各保存会への助成に関し、内容等精査する必要がある。

評価	必要性	4	後継者育成が順調におこなわれ地区内の神楽奉仕はもとより、近隣府県等の神社で獅子神楽を奉納するなど活動は活発である。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		